

補足情報

このたびは、弊社の FMV Comfort Keyboard KB800 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこのマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

マニュアルについて

本製品の各部名称、接続、お使いになるまでの設定については、『取扱説明書』をご覧ください。
本製品の注意事項や詳細な使い方、仕様などについては、『補足情報』をご覧ください。
また、本製品を接続するパソコン/タブレット/スマートフォンのマニュアルもあわせてご覧ください。

お使いになる前に

ワイヤレスキーボードについて

2.4DS1

上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DS-SS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 10m です。
この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
・この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
・不明な点、その他お困りのことが起きたときは、本製品のご購入元へお問い合わせください。

マニュアルの表記

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なる場合や、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略している場合があります。

操作手順について

- Windows とその他の OS は、機能の追加や改善、セキュリティの向上を目的とし、インターネットを通じて自動で更新されます。そのため、このマニュアルをご覧になる時期により、操作手順や画面に表示される内容などが変わる場合があります。
- このマニュアルでは、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なる場合があります。

キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を記述しています。
また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。
例：control + option + space キーなど

製品の呼び方

このマニュアルでは、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	マニュアルの表記
FMV Comfort Keyboard KB800	本製品
Bluetooth®	Bluetooth
Windows 11	Windows
Windows 10	

商標および著作権

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, LLC が所有する登録商標であり、富士通クライアントコンピューティング株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

iOS、iPadOS、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Android、Chrome OS は、Google LLC の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。


その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Client Computing Limited 2024


USB レシーバーで接続する

USB レシーバーを使用して、接続する方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

接続が完了したら、次に「入力モードとレイヤーについて」(→ P.3) をご覧になり、接続するパソコン/タブレットの OS に対応した入力モードとレイヤーを、 (USB レシーバーボタン) に設定します。入力モードとレイヤーの組み合わせにより、お使いの OS をあわせて設定することができます。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続する

3 個の Bluetooth ボタンに対して、接続するパソコン/タブレット/スマートフォンを 3 台まで設定することができます。本製品をペアリングモードにする場合に、CONNECT ボタンといっしょに設定したい Bluetooth ボタンを押してください。

ここでは、 (Bluetooth ボタン 1) に設定する方法を説明します。



重要

- ▶ 本製品をお使いになる前に、パソコン/タブレット/スマートフォンとのペアリングが必要です。
- ▶ パソコン/タブレット/スマートフォンとのペアリングを 1 回行った場合、再度、ペアリングする必要はありません。
- ▶ パソコン/タブレット/スマートフォンの初期化を行った場合などで自動的に接続できない場合は、再度、ペアリングを行ってください。

1 パソコン/タブレット/スマートフォンの Bluetooth の設定画面を表示します。

下記の手順は一例です。Bluetooth の設定画面の表示方法や Bluetooth をオンにする方法がわからない場合は、お使いの機種のマニュアルをご覧になるか、メーカーにお問い合わせください。

■ Windows 11 の場合

- (1)  →  (設定) の順にクリックします。
- (2) 「Bluetooth とデバイス」をクリックし、「デバイスの追加」をクリックします。
- (3) 「Bluetooth」をクリックします。

POINT

▶ 「Bluetooth」が「オフ」の場合は、「オン」にします。

■ Windows 10 の場合

- (1)  →  (設定) の順にクリックします。
- (2) 「Bluetooth とその他のデバイス」をクリックし、「Bluetooth またはその他のデバイスを追加する」をクリックします。
- (3) 「Bluetooth」をクリックします。

POINT

▶ 「Bluetooth」が「オフ」の場合は、「オン」にします。

■ macOS の場合

- (1) ホーム画面下側の「システム環境設定」または「システム設定」をクリックし、「Bluetooth」をクリックします。

POINT

▶ 「Bluetooth : オフ」の場合は、「Bluetooth をオンにする」をクリックし、「Bluetooth : オン」にします。

■ iOS/iPadOS の場合

- (1) 「設定」App をタップし、「Bluetooth」をタップします。

POINT

▶ 「Bluetooth」がオフの場合は、オンにします。

■ Android の場合

- (1) 「設定」をタップし、「接続設定」→「新しいデバイスとペア設定」の順にタップします。

POINT

▶ 「Bluetooth」がオフの場合は、オンにします。

■ Chrome OS の場合

- (1) 画面右下のバッテリーを選択します。
- (2) 「Bluetooth」の文字をクリックし、「新しいデバイスとペア設定」をクリックします。


POINT

▶ 「Bluetooth」がオフの場合は、オンにします。

2 本製品をペアリングモードにします。




- (1) 電源スイッチを ON にします。
- (2) CONNECT ボタンと設定したい  (Bluetooth ボタン 1) をいっしょに押します。
状態表示ランプが短い間隔で点滅し、ペアリングモードになります。
Bluetooth デバイスの一覧に「FMV KB800」が表示されます。

3 デバイスを選択し、コードを入力します。

- (1) 「FMV KB800」をクリックします。
数字 (コード) が表示されます。
- (2) 本製品で、表示された数字をキー入力し、 を押します。
- (3) macOS Big Sur 11 の場合、macOS で表示された「接続」をクリックします。
ペアリングが完了します。

POINT

▶再ペアリングする場合は、まず、パソコン／タブレット／スマートフォンに登録したデバイスを削除してください。

- Windows 11 の場合
 1.  → (設定) → 画面左側の「Bluetooth とデバイス」の順にクリックします。
 2. 「FMV KB800 (接続済み)」または「FMV KB800 (ペアリング済み)」の右上にある  をクリックし、「デバイスの削除」をクリックします。
 3. 「このデバイスを削除しますか？」というメッセージで、「はい」をクリックします。
 - Windows 10 の場合
 1.  → (設定) → 「デバイス」→ 画面左側の「Bluetooth とその他のデバイス」の順にクリックします。
 2. 「FMV KB800 (接続済み)」または「FMV KB800 (ペアリング済み)」をクリックし、「デバイスの削除」をクリックします。
 3. 「このデバイスを削除しますか？」というメッセージで、「はい」をクリックします。
 - macOS の場合
 1. ホーム画面下側の「システム環境設定」をクリックし、「Bluetooth」をクリックします。
 2. 「FMV KB800 (接続済み)」または「FMV KB800 (未接続)」の右側にある「x」をクリックします。
 3. 「FMV KB800」を削除してもよろしいですか？」というメッセージで、「削除」をクリックします。
 - iOS/iPadOS の場合
 1. ホーム画面下側の「設定」App をタップし、画面左側の「Bluetooth」をタップします。
 2. 「自分のデバイス」の一覧の「FMV KB800 (接続済み)」または「FMV KB800 (未接続)」の右側にある「i」マークをタップし、「このデバイスの登録を解除」をタップします。
 3. 「FMV KB800」の登録を解除しますか？」というメッセージで、「デバイスの登録を解除」をタップします。
 - Android の場合
 1. 「設定」→「接続設定」の順にタップします。
 2. 保存済みのデバイスの下に表示される「FMV KB800」のとなりにある歯車マークをタップします。
 3. 「削除」をタップし、「このデバイスとのペア設定を解除」をタップします。
 - Chrome OS の場合
 1. 画面右下の「O」をクリックし、「設定」をクリックします。
 2. 画面左側の「Bluetooth」をクリックしたら、画面中央の「Bluetooth」をクリックします。
 3. 「以前に接続したデバイス」または「現在接続中のデバイス」の下「FMV KB800」をクリックします。
 4. 「削除」をクリックし、「このデバイスを削除しますか？」というメッセージで「削除」をクリックします。
- その後、手順 1 からペアリングを行ってください。

ペアリングの設定が完了したら、次に「入力モードとレイヤーについて」(→ P.3) をご覧になり、接続するパソコン／タブレット／スマートフォンの OS に対応した入力モードとレイヤーを、Bluetooth ボタンに設定します。入力モードとレイヤーの組み合わせにより、お使いの OS をあわせて設定することができます。

入力モードとレイヤーについて

本製品には、入力モード 1、2、3 とレイヤー A、B があります。入力モードとレイヤーの組み合わせで、入力できるキーが異なります。詳しくは、次をご覧ください。

●入力モード 1

Windows、Android (日本語配列設定)、Chrome OS と接続することを想定したモードです。詳しくは、「キーの各部の名称と働き (入力モード 1 の場合)」(→ P.5) をご覧ください。

●入力モード 2

macOS、iOS/iPadOS (JIS(日本語)設定) と接続することを想定したモードです。詳しくは、「キーの各部の名称と働き (入力モード 2 の場合)」(→ P.6) をご覧ください。

●入力モード 3

iOS/iPadOS (ANSI(英語)設定)、Android (英語配列設定) と接続することを想定したモードです。詳しくは、「キーの各部の名称と働き (入力モード 3 の場合)」(→ P.8) をご覧ください。

接続するパソコン／タブレット／スマートフォンの OS を、入力モードとレイヤーの組み合わせにより設定します。下記の表をご覧ください。下記の表をご覧ください。入力モードとレイヤーを設定してください。

入力モード	レイヤー	動作対応 OS
1	A	Windows 11、Windows 10、Android 11以降 (日本語配列 ^[注1])、Chrome OS
	B	Windows 11、Windows 10、Android 11以降 (日本語配列 ^[注1])、Chrome OS
2	A	macOS Big Sur 11 以降
	B	iOS/iPadOS 16.1 以降 (JIS(日本語)設定 ^[注2])
3	A	iOS/iPadOS 16.1 以降 (ANSI(米国)設定 ^[注3])、iOS/iPadOS 16.0 以前
	B	Android 11 以降 (英語配列 ^[注4])



注1: Android の「設定」→「システム」→「キーボード」で、物理キーボードのレイアウト設定が日本語配列の場合。一部の Android 機種は、日本語配列に設定しても英語配列と認識される場合があるため、「Android の場合」(→ P.4) をご覧になり、入力モードとレイヤーを設定してください。



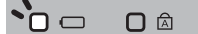

注2: iOS/iPadOS の「設定」→「一般」→「ハードウェアキーボード」→「キーボードの種類」で、「JIS(日本語)」を設定している場合

注3: iOS/iPadOS の「設定」→「一般」→「ハードウェアキーボード」→「キーボードの種類」で、「ANSI(米国)」を設定している場合



注4: Android の「設定」→「システム」→「キーボード」で、物理キーボードのレイアウト設定がデフォルトまたは英語配列の場合

注 1～注 4 の設定は一例です。詳しくは、お使いの機種のマニュアルをご確認ください。

入力モードを設定するには、 を押しなが、、、または  を押します。入力モードを設定したい数字のキーを押してください。

入力モード	操作	ランプの状態
1		設定が完了すると、状態表示ランプが 2 回点滅します。
2		
3		

レイヤーを設定するには、**[Fn]**を押しながら、**[L]**を押します。ランプが点滅する回数で、レイヤー A または B を設定してください。

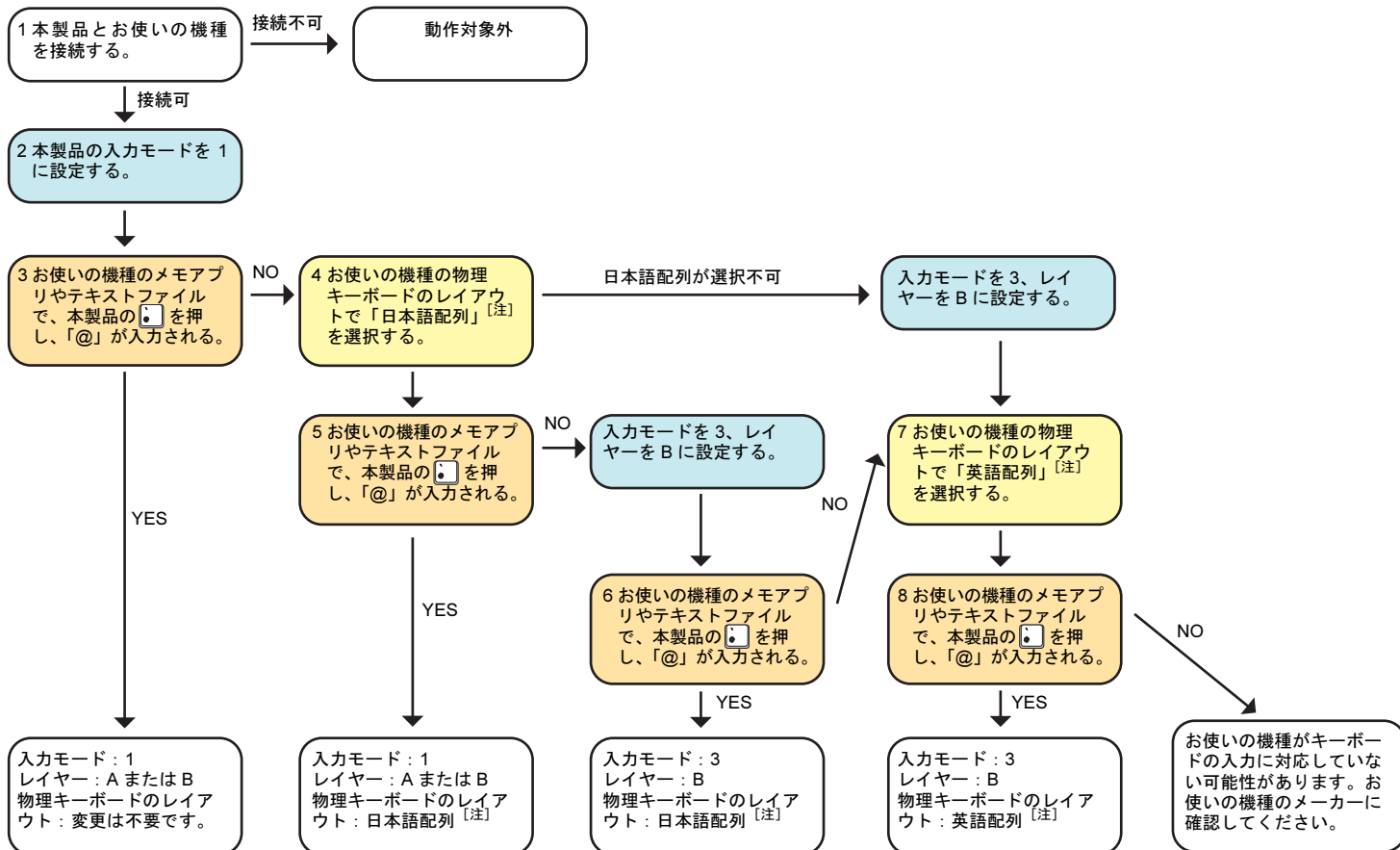
レイヤー	操作	ランプの状態
A	[Fn] + [L]	設定が完了すると、状態表示ランプと Caps Lock ランプが 2 回点滅します。 
B	[Fn] + [L]	設定が完了すると、状態表示ランプと Caps Lock ランプが 3 回点滅します。 

Android の場合

Android は、お使いの機種メーカーや OS のバージョンによって、キーの入力結果が本製品のキーの刻印と異なる場合があります。正しい入力をするためには、お使いの機種に合わせた入力モードとレイヤーの設定が必要です。

また、お使いの機種で物理キーボードのレイアウトを変更する必要がある場合があります。


本製品の入力モードとレイヤーの設定と、お使いの機種の物理キーボードのレイアウト変更の手順は、下記をお勧めします。



注：Android の機種や OS のバージョンによって、物理キーボードのレイアウト設定の表示が異なる場合があります。

- 1 本製品とお使いの機種を接続します。
- 2 本製品の入力モードを 1 に設定します。**[Fn]**を押しながら、**[L]**を押します。
- 3 正しく文字入力ができるか確認します。
 お使いの機種のメモアプリやテキストファイルで、本製品の **[Fn]** を押し、入力結果を確認してください。
 - ・入力結果が「@」の場合
設定が完了しました。入力モードは 1 を使用してください。お使いの機種の物理キーボードのレイアウト変更は不要です。
 - ・入力結果が「@」以外の場合
お使いの機種で物理キーボードのレイアウト変更が必要です。次の手順に進んでください。
- 4 お使いの機種の物理キーボードのレイアウトを「日本語配列」に変更します。
 - ・Android 13 以前の場合
「設定」→「システム」→「言語と入力」→「キーボード」→「物理キーボード」→「FMV KB800」をタップし、「日本語配列」を選択します。
 - ・Android 14 の場合
「設定」→「システム」→「キーボード」→「物理キーボード」→「FMV KB800」をタップし、「日本語配列」を選択します。
レイアウトの変更が完了したら次に進みます。
「日本語配列」を選択できない場合、入力モードを 3、レイヤーを B に設定し、手順 7 に進んでください。
- 5 現在の設定で、正しく文字入力ができるか確認します。
 お使いの機種のメモアプリやテキストファイルで、本製品の **[Fn]** を押し、入力結果を確認してください。
 - ・入力結果が「@」の場合
設定が完了しました。物理キーボードのレイアウトは日本語配列、入力モードは 1 を使用してください。
 - ・入力結果が「@」以外の場合
本製品で入力モードとレイヤーの変更が必要です。入力モードを 3、レイヤーを B に設定します。

6 現在の設定で、正しく文字入力ができるか確認します。

お使いの機種種のメモアプリやテキストファイルで、本製品の  を押し、入力結果を確認してください。

- ・入力結果が「@」の場合

設定が完了しました。物理キーボードのレイアウトは日本語配列、入力モードは3、レイヤーはBを使用してください。

- ・入力結果が「@」以外の場合

お使いの機種種で物理キーボードのレイアウト変更が必要です。手順7に進んでください。

7 お使いの機種種の物理キーボードのレイアウトを「英語配列」に変更します。


- ・Android 13 以前の場合

「設定」→「システム」→「言語と入力」→「キーボード」→「物理キーボード」→「FMV KB800」をタップし、「英語配列」を選択します。

- ・Android 14 の場合

「設定」→「システム」→「キーボード」→「物理キーボード」→「FMV KB800」をタップし、「英語配列」を選択します。

8 現在の設定で、正しく文字入力ができるか確認します。

お使いの機種種のメモアプリやテキストファイルで、本製品の  を押し、入力結果を確認してください。

- ・入力結果が「@」の場合

設定が完了しました。物理キーボードのレイアウトは英語配列、入力モードは3、レイヤーはBを使用してください。

- ・入力結果が「@」以外の場合

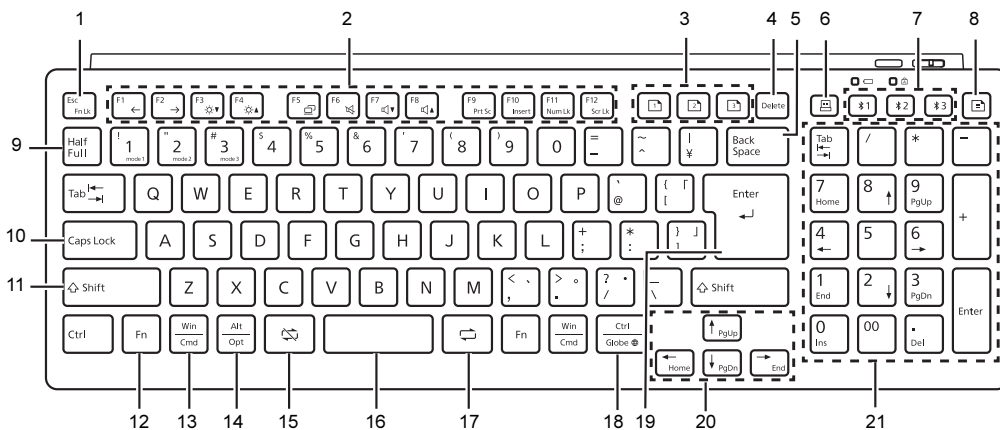
お使いの機種種がキーボードの入力に対応していない可能性があります。お使いの機種種のメーカーに確認してください。

上記の手順は一例です。「物理キーボード」の設定画面が表示できなかった場合は、「設定」アプリで「物理キーボード」や「キーボード」などを入力して、検索してください。表示されない場合は、お使いの機種種のマニュアルをご覧になるか、メーカーにお問い合わせください。

Android でお使いになる場合の設定の概要や、動作確認済みスマートフォンについては、FMV サポートページのQ&A ナンバー「6211-3777」をあわせてご覧ください。
<https://www.fmworld.net/cs/azbyclub/qanavi/jsp/qacontents.jsp?PID=6211-3777>

キーの各部の名称と働き (入力モード1の場合)


動作対応 OS : レイヤー A/B : Windows 11、Windows 10、Android 11 以降 (日本語配列)、Chrome OS



1 Esc キー

現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。キーの下側の刻印の機能は、 を押しながらファンクションキーを押して使います。

3 メモリー実行キー 1、2、3

キーを押すと、登録したキーコマンドを実行します。

4 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

5 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

6 USB レシーバーボタン

USB レシーバーによる接続に切り替えるときに、押します。

CONNECT ボタンといっしょに押すと、キーボードと USB レシーバーを再認識させるモードになります。

7 Bluetooth ボタン 1、2、3

Bluetooth ワイヤレステクノロジーによる接続に切り替えるときに、押します。3 台まで登録することができ、ボタンを押すたびに、接続先を切り替えることができます。

CONNECT ボタンといっしょに押すと、ペアリングモードになります。


8 メモリーキー

メモリー実行キーに、キーコマンドを登録するときに使用します。詳しくは、「メモリー機能について」(→P.9)をご覧ください。

9 Half Full (半角/全角) キー

キーを押すたびに、半角入力/全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

10 Caps Lock キー

 を押しながらこのキーを押して、英大文字入力/小文字入力を切り替えます。

11 Shift キー

このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

12 Fn キー

Fn を押しながら、キーの下側に刻印があるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

- Fn** + **Esc Fn Lk** : キーを押すごとに、F Lock機能の有効/無効を切り替えます。
F Lock機能を有効にすると、**Fn** を押さずにファンクションキーを押すだけでファンクションキーの右下の刻印の機能を使用できます
F Lock機能は、OSが起動している場合にのみ使用できます。OSの起動前およびBIOSセットアップでは、F Lock機能は使用できません。
- Fn** + **F1** : ブラウザーの戻りとして動作します。
- Fn** + **F2** : ブラウザーの進むとして動作します。
- Fn** + **F3** : 画面の明るさを暗くします。
- Fn** + **F4** : 画面の明るさを明るくします。
- Fn** + **F5** : お使いの機種と外部ディスプレイを接続した場合に、液晶ディスプレイと外部ディスプレイで表示先や表示方法を切り替えます。
- Fn** + **F6** : 音声出力のON/OFFを切り替えます。
- Fn** + **F7** : 音量を小さくします。
- Fn** + **F8** : 音量を大きくします。
- Fn** + **F9** : **Print Screen**として動作し、画面に表示されている内容を画像としてコピーできます。
- Fn** + **F10** : 入力する文字の挿入/上書きを切り替えます。
- Fn** + **F11** : **Num Lock**機能のON/OFFを切り替えます。
Num Lock機能がONになると、本製品のテンキーが有効になります。接続先の機種もNum Lock機能がONとなります。
- Fn** + **F12** : 接続先の機種のScroll Lock機能のON/OFFを切り替えます。
- Fn** + **Home** : カーソルを行の最初に移動します。
- Fn** + **↑ PgUp** : 前の画面に切り替えます。
- Fn** + **↓ PgDn** : 次の画面に切り替えます。
- Fn** + **→ End** : カーソルを行の最後に移動します。
- Fn** + **1** : 入力モードを1に切り替えます。
- Fn** + **2** : 入力モードを2に切り替えます
- Fn** + **3** : 入力モードを3に切り替えます。
- Fn** + **⇄** : レイヤー A とレイヤー B を切り替えます。

13 Win/Cmd キー

Windows キーとして動作します。

14 Alt/Opt キー

Alt キーとして動作します。

15 無変換キー

レイヤー A のとき: 無変換キーとして動作します。
レイヤー B のとき: 英数キーとして動作し、英数入力に切り替えます。

16 空白 (Space) キー

空白を入力します。

17 変換キー

レイヤー A のとき: 変換キーとして動作します。
レイヤー B のとき: かなキーとして動作し、かな入力に切り替えます。

18 Ctrl/Globe キー

Ctrl キーとして動作します。

19 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

20 カーソルキー

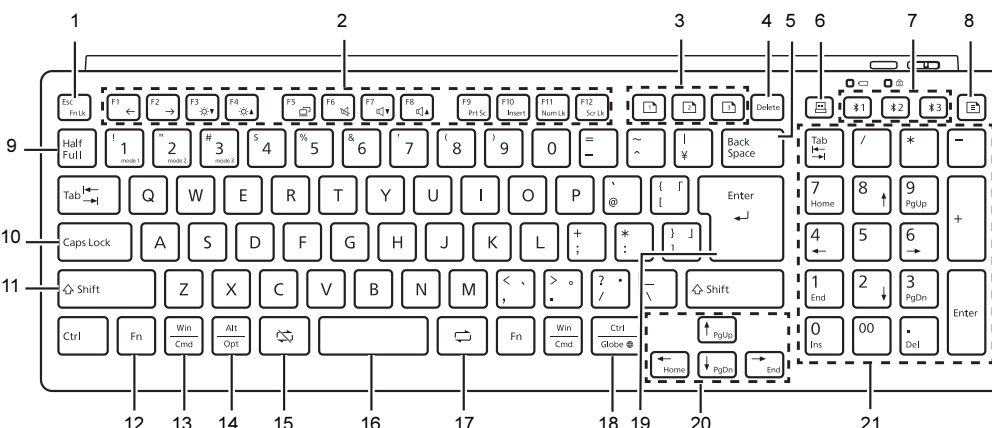
カーソルを上下左右に移動します。

21 テンキー

数字や記号を入力します。

キーの各部の名称と働き (入力モード 2 の場合)

動作対応 OS : レイヤー A : macOS Big Sur 11 以降
レイヤー B : iOS/iPadOS 16.1 以降 (JIS(日本語)設定)



1 Esc キー

現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。キーの下側の刻印の機能は、**Fn** を押しながらファンクションキーを押して使います。

3 メモリー実行キー 1、2、3

キーを押すと、登録したキーコマンドを実行します。

4 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

5 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

6 USB レシーバーボタン

USB レシーバーによる接続に切り替えるときに、押します。

CONNECT ボタンといっしょに押すと、キーボードと USB レシーバーを再認識させるモードになります。

7 Bluetooth ボタン 1、2、3

Bluetooth ワイヤレステクノロジーによる接続に切り替えるときに、押します。3 台まで登録することができ、ボタンを押すたびに、接続先を切り替えることができます。

CONNECT ボタンといっしょに押すと、ペアリングモードになります。

8 メモリーキー

メモリー実行キーに、キーコマンドを登録するときに使用します。詳しくは、「メモリー機能について」(→ P.9) をご覧ください。

9 Half Full (半角/全角) キー

・レイヤー A のとき

control + option + space キーとして動作し、入力言語を切り替えます。

・レイヤー B のとき

control + space キーとして動作し、入力言語を切り替えます。

10 Caps Lock キー

英大文字入力/小文字入力を切り替えます。

11 Shift キー

このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

12 Fn キー

Fn を押しながら、キーの下側に刻印があるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

Fn + **Esc** / **Fn Lk** : キーを押すごとに、F Lock機能の有効/無効を切り替えます。

F Lock機能を有効にすると、**Fn** キーを押さずにファンクションキーを押すだけでファンクションキーの右下の刻印の機能を使用できます

F Lock機能は、OSが起動している場合にのみ使用できます。OSの起動前およびBIOSセットアップでは、F Lock機能は使用できません。

Fn + **F1** : ブラウザーの戻るとして動作します。

Fn + **F2** : ブラウザーの進むとして動作します。

Fn + **F3** : 画面の明るさを暗くします。

Fn + **F4** : 画面の明るさを明るくします。

Fn + **F5** : レイヤー A のとき: **command**+画面の輝度を下げるとして動作し、お使いの機種と外部ディスプレイを接続した場合に、液晶ディスプレイと外部ディスプレイで表示先や表示方法を切り替えます。

レイヤー B のとき: 動作しません。

Fn + **F6** : レイヤー A のとき: 音声出力のON/OFFを切り替えます。

レイヤー B のとき: 動作しません。

Fn + **F7** : 音量を小さくします。

Fn + **F8** : 音量を大きくします。

Fn + **F9** : **command**+**shift**+3キーとして動作し、スクリーンショットを撮影します。

Fn + **F10** : 入力する文字の挿入/上書きを切り替えます。

Fn + **F11** : Num Lock機能のON/OFFを切り替えます。

Num Lock機能がONになると、本製品のテンキーが有効になります。接続先の機種もNum Lock機能がONとなります。

Fn + **F12** : 接続先の機種のScroll Lock機能のON/OFFを切り替えます。

Fn + **Home** : カーソルを行の最初に移動します。

Fn + **PgUp** : 前の画面に切り替えます。

Fn + **PgDn** : 次の画面に切り替えます。

Fn + **End** : カーソルを行の最後に移動します。

Fn + **1** : 入力モードを1に切り替えます。

Fn + **2** : 入力モードを2に切り替えます

Fn + **3** : 入力モードを3に切り替えます。

Fn + **⇄** : レイヤー A とレイヤー B を切り替えます。

13 Win/Cmd キー

command キーとして動作します。

14 Alt/Opt キー

option キーとして動作します。

15 無変換キー

英数キーとして動作し、英数入力に切り替えます。

16 空白 (Space) キー


空白を入力します。

17 変換キー

かなキーとして動作し、かな入力に切り替えます。



18 Ctrl/Globe キー

- レイヤー A のとき
command + control + space キーとして動作します（地球儀キーとして動作します）。
- レイヤー B のとき
Caps Lock キーとして動作します。

を地球儀キーとして使うためには、Caps Lock キーに地球儀キーを割り当てる必要があります。

(1) 本製品と iPad (iPadOS 15 以降) を Bluetooth 接続します。

(2) 「設定」 → 「一般」 → 「キーボード」 → 「ハードウェアキーボード」の順に選択し、「修飾キー」をタップし、Caps Lock キーを地球儀キーに設定します。

を押しながら を押すと、各アプリのすべてのショートカットを表示します。

19 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

20 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

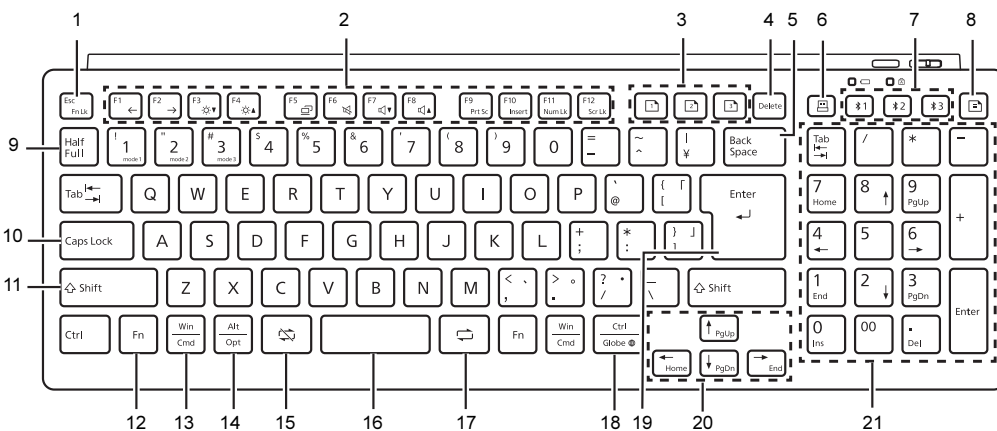
21 テンキー

数字や記号を入力します。

キーの各部の名称と働き（入力モード 3 の場合）

動作対応 OS：レイヤー A：iOS/iPadOS 16.1 以降（ANSI(米国)設定）、iOS/iPadOS 16.0 以前


レイヤー B：Android 11 以降（英語配列）



1 Esc キー

現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。キーの下側の刻印の機能は、を押しながらファンクションキーを押して使います。

3 メモリー実行キー 1、2、3

キーを押すと、登録したキーコマンドを実行します。

4 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

5 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

6 USB レシーバーボタン

USB レシーバーによる接続に切り替えるときに、押します。

CONNECT ボタンといっしょに押すと、キーボードと USB レシーバーを再認識させるモードになります。

7 Bluetooth ボタン 1、2、3

Bluetooth ワイヤレステクノロジーによる接続に切り替えるときに、押します。3 台まで登録することができ、ボタンを押すたびに、接続先を切り替えることができます。

CONNECT ボタンといっしょに押すと、ペアリングモードになります。

8 メモリーキー

メモリー実行キーに、キーコマンドを登録するときに使用します。詳しくは、「メモリー機能について」(→ P.9) をご覧ください。

9 Half Full (半角/全角) キー

- レイヤー A のとき
control + space キーとして動作し、入力言語を切り替えます。
 - レイヤー B のとき
shift + space キーとして動作し、入力言語を切り替えます。
- お使いの機種によっては動作しない場合があります。お使いの機種のマニュアルで入力言語切り替え操作を確認してください。

10 Caps Lock キー





















英大文字入力/小文字入力を切り替えます。

11 Shift キー

このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

12 Fn キー

Fn を押しながら、キーの下側に刻印があるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

- Fn** + **Esc** **FnLk** : キーを押すごとに、F Lock機能の有効/無効を切り替えます。
F Lock機能を有効にすると、**Fn** を押さずにファンクションキーを押すだけでファンクションキーの右下の刻印の機能を使用できます
F Lock機能は、OSが起動している場合にのみ使用できます。OSの起動前およびBIOSセットアップでは、F Lock機能は使用できません。
- Fn** + **F1**  : ブラウザーの戻るとして動作します。
- Fn** + **F2**  : ブラウザーの進むとして動作します。
- Fn** + **F3**  : 画面の明るさを暗くします。
- Fn** + **F4**  : 画面の明るさを明るくします。
- Fn** + **F5**  : レイヤー A のとき: 動作しません。
レイヤー B のとき: **Windows+P** キーとして動作します。
- Fn** + **F6**  : レイヤー A のとき: 動作しません。
レイヤー B のとき: 音声出力のON/OFFを切り替えます。
- Fn** + **F7**  : 音量を小さくします。
- Fn** + **F8**  : 音量を大きくします。
- Fn** + **F9**  : レイヤー A のとき: **command+shift+3** キーとして動作し、スクリーンショットを撮影します。
レイヤー B のとき: **Print Screen** として動作し、スクリーンショットを撮影します。
- Fn** + **F10**  : 入力する文字の挿入/上書きを切り替えます。
- Fn** + **F11**  : Num Lock機能のON/OFFを切り替えます。
Num Lock機能がONになると、本製品のテンキーが有効になります。接続先の機種もNum Lock機能がONとなります。
- Fn** + **F12**  : 接続先の機種のScroll Lock機能のON/OFFを切り替えます。
- Fn** + **Home**  : カーソルを行の最初に移動します。
- Fn** + **↑**  **PgUp** : 前の画面に切り替えます。
- Fn** + **↓**  **PgDn** : 次の画面に切り替えます。
- Fn** + **End**  : カーソルを行の最後に移動します。
- Fn** + **1**  : 入力モードを1に切り替えます。
- Fn** + **2**  : 入力モードを2に切り替えます。
- Fn** + **3**  : 入力モードを3に切り替えます。
- Fn** + **⇄**  : レイヤー A とレイヤー B を切り替えます。

13 Win/Cmd キー

Windows キーまたは command キーとして動作します。

14 Alt/Opt キー

Alt キーまたは option キーとして動作します。

15 無変換キー

英数キーとして動作し、英数入力に切り替えます。

16 空白 (Space) キー

空白を入力します。


17 変換キー

かなキーとして動作し、かな入力に切り替えます。

18 Ctrl/Globe キー


・レイヤー A のとき

Caps Lock キーとして動作します。

iPad (iPadOS 15 以降) で、 を地球儀キーとして使うためには、Caps Lock キーに地球儀キーを割り当てる必要があります。

(1) 本製品と iPad (iPadOS 15 以降) を Bluetooth 接続または USB 接続します。

(2) 「設定」→「一般」→「キーボード」→「ハードウェアキーボード」の順に選択し、「修飾キー」をタップし、Caps Lock キーを地球儀キーに設定します。

 を押しながら **M** を押すと、各アプリのすべてのショートカットを表示します。

・レイヤー B のとき

Ctrl キーとして動作します。

19 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

20 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。


21 テンキー

数字や記号を入力します。



メモリー機能について

メモリー機能とは、メモリー実行キーに、入力したキーを 50 キーまで記憶させ、メモリー実行キーを押すことで、ワンタッチで実行できる機能です。複雑なキーの入力を、メモリー実行キーに記憶させることで、メモリー実行キーを 1 回押すだけで実行できるため、キー操作が簡単にできるようになります。よくお使いになるショートカットキーやメールアドレス、定型文などを、接続デバイスごと、メモリー実行キーの 3 個まで登録することができます。

メモリー実行キーにキーコマンドを登録する

ここでは、 (メモリー実行キー 1) に登録する方法を説明します。

1 記録モードを開始します。

- (1)  (メモリーキー) + キーコマンドを記録させたい  (メモリー実行キー 1) を約 1.5 秒長押しします。
記録モードが開始され、状態表示ランプと Caps Lock ランプが交互に点滅します。

2 任意のキーコマンド (ショートカットキーやメールアドレスなど) を入力します。

CONNECT ボタンは約 1 秒待機するキーとしてお使いいただけます。

・記憶させるキーの例

Windows のショートカット: スクリーンショット (Win/Cmd + Shift + S)

文字列: メールアドレス (xxxxxxxxxx@xx.jp) を入力する

Windows のアプリ起動: カメラアプリ (Win/Cmd → CONNECT ボタン (約 1 秒待つ) → C → A → M → E → R → A → Enter)

POINT

- ▶記録モード中は、Shift キーの操作が反映されません。メモリー実行時は Shift キーが反映されるようになります。
- ▶USB レシーバーボタンと Bluetooth ボタン 1、2、3 は、記録させることができません。
- ▶記録モード中にキーコマンドの入力が 50 キーを超えた場合と記録モード開始から約 180 秒経過した場合は、状態表示ランプが 3 回点滅し、記録モードを終了します。終了するまでに入力したキーコマンドは記録されません。


3 キーの入力が完了したら (メモリーキー) を押し、記録モードを終了します。

キーコマンドが記録され、状態表示ランプと Caps Lock ランプが同時に 2 回点滅します。

POINT

- ▶状態表示ランプが赤く点滅した場合は、キーコマンドの入力時に 50 キーを超えたか、記録モードの開始から約 180 秒経過し、記録モードが終了した可能性があります。

4 (メモリー実行キー 1) を押します。

 (メモリー実行キー 1) に記録されたキーコマンドが実行されます。

POINT

- ▶キーコマンドの実行中にキーを押すと、キーコマンドにキーの入力が割り込みます。

メモリーのデバッグ機能

1 キーの入力を、英語入力 (英数字入力モード) にします。

2 を押しながら、 (メモリー実行キー 1) を押します。

メモリー実行キーに記録したキーコマンドが、テキスト形式で表示されます。
どのタイミングにどのキーを入力したかがわかります。

キーコマンドの一括削除機能

1 (メモリーキー) + (Esc キー) + (Delete キー) をいっしょに約 3 秒長押しします。



状態表示ランプと Caps Lock ランプが長い間隔で 5 回点滅します。

メモリー実行キー 1、2、3 に記録されたキーコマンドがすべて削除されます。

セキュリティ機能

「パスキー (F1 ~ F12)」を設定することで、記録モードの開始とキーコマンドの一括削除機能にロックをかける機能です。ロック中は、記録モードの開始とキーコマンドの一括削除機能は、使えません。

1 パスキーを設定します。

- (1)  (メモリーキー) +  + F1 キー ~ F12 キーの任意の 1 つのキーをいっしょに押します。
セキュリティ機能が ON となり、状態表示ランプと Caps Lock ランプが長い間隔で 3 回点滅します。
F1 キー ~ F12 キーの中から選んだ 1 つのキーが「パスキー」となります。

2 パスキーの設定後、10 分たつか電源スイッチを OFF にします。

記録モードの開始とキーコマンドの一括削除機能にロックがかかります。

POINT

- ▶ロックがかかっている状態では、記録モードの開始とキーコマンドの一括削除機能、パスキーの設定変更はできません。
- ▶ロックがかかっている状態で  (メモリーキー) とメモリー実行キーを約 1.5 秒長押しした場合、記録モードは開始されず、状態表示ランプが 3 回赤色に点滅します。
- ▶ロックがかかっている状態で  (メモリーキー) +  (Esc キー) +  (Delete キー) をいっしょに約 3 秒長押しした場合、キーコマンドの一括削除はできず、状態表示ランプが 3 回赤色に点滅します。

■ロックを解除する

1 (メモリーキー) + + 設定したパスキー (F1 キー ~ F12 キー) をいっしょに押します。

状態表示ランプと Caps Lock ランプが短い間隔で 3 回点滅し、ロックが一時的に解除されます。

POINT

- ▶パスキーが間違っている場合は、状態表示ランプが短い間隔で 2 回赤色に点滅します。

2 ロックの解除後、10 分たつか電源スイッチを OFF にします。

記録モードの開始とキーコマンドの一括削除機能に再度ロックがかかります。

■パスキーを変更する

- 1 **[Fn]**(メモリーキー) + **[Fn]** + 設定したパスキー (F1 キー～ F12 キー) をいっしょに押し、ロックを解除します。
- 2 **[Fn]**(メモリーキー) + **[Fn]** + F1 キー～ F12 キーの任意の 1 つのキーをいっしょに押します。
状態表示ランプと Caps Lock ランプが長い間隔で 3 回点滅します。F1 キー～ F12 キーの中から選んだ 1 つのキーが新しいパスキーとなります。

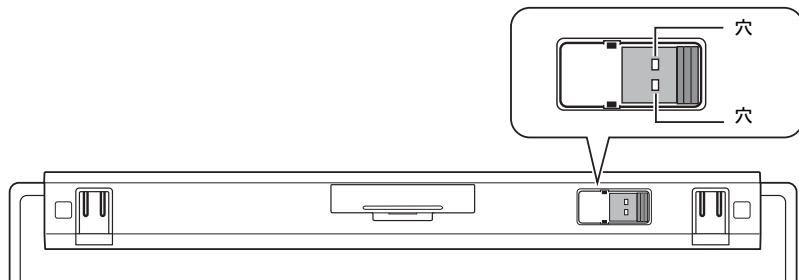
■パスキーを解除する

- 1 **[Fn]**(メモリーキー) + **[Fn]** + 設定したパスキー (F1 キー～ F12 キー) をいっしょに押し、ロックを解除します。
- 2 **[Fn]** + **[Fn]**(メモリーキー) + **[Esc/FnLk]**(Esc キー) を約 1.5 秒長押しします。
状態表示ランプと Caps Lock ランプが 4 回点滅し、パスキーが解除され、セキュリティ機能が OFF になります。ロック状態にならなくなります。

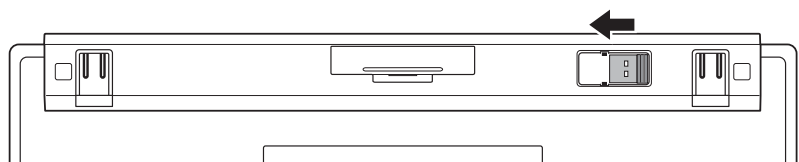
USB レシーバーを収納する

USB レシーバーを使用しない場合は、本製品の裏面に収納してください。

- 1 キーボードを裏返して、USB レシーバーの穴の空いている面を上にして、右端に入れます。



- 2 US レシーバーを左端 (矢印の方向) に動かし、収納します。



トラブルシューティング

本製品から入力したキーボード操作がうまく動作しない場合に、まず次の操作を行ってください。

- 1 電源スイッチを OFF にします。
- 2 お使いの機種から USB レシーバーを取り外します。
- 3 再度、お使いの機種に USB レシーバーを接続します。
- 4 Bluetooth 通信の場合は、電源スイッチを ON にします。

この操作をしても解決しない場合は、次の表をご覧ください。対処方法を行ってください。

現象	原因	対処
本製品からのキー入力の一部がパソコン/タブレット/スマートフォンに入力されないことがある。	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか USB レシーバーの接続に切り替えてください。USB レシーバーの接続方法については、『取扱説明書』をご覧ください。
	電池の残量が低下している可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。ON にしたときに状態表示ランプが点灯しない場合や、赤色点滅する場合は、残量が低下しています。新しい乾電池に交換してください。
本製品からのキー入力がパソコン/タブレット/スマートフォンに入力され続ける。	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか USB レシーバーの接続に切り替えてください。USB レシーバーの接続方法については、『取扱説明書』をご覧ください。
本製品からキーを数秒以上入力せず、その後キー入力をすると、数秒間キーがパソコン/タブレット/スマートフォンに入力できない。	本製品およびパソコン/タブレット/スマートフォンの省電力設定が影響している。	もう一度キーを入力してください。 パソコン/タブレットの電源オプションの設定を変更してください (→P.13)。
本製品からキーを数秒以上入力せず、その後キー入力をすると、パソコン/タブレット/スマートフォンにまったく入力できない。	パソコン/タブレットの省電力設定が影響している。	パソコン/タブレットの電源オプションの設定を変更してください (→P.13)。
Bluetooth 通信で本製品から入力したキーが、パソコン/タブレット/スマートフォンに入力できない。	電源スイッチが OFF になっている。	電源スイッチを ON にしてください。
	電池が切れている。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。ON にしたときに状態表示ランプが点灯しない場合、電池が切れています。新しい乾電池に交換してください。
	ペアリングの状態に問題がある。	本製品とパソコン/タブレット/スマートフォンのペアリングをいったん解除し、再度ペアリングをしてください。ペアリングの方法については、「Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続する」(→P.2) をご覧ください。
	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか USB レシーバーの接続に切り替えてください。USB レシーバーの接続方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

次に、電源オプションの設定について説明します。

1. コントロールパネルを起動します。

■ Windows 11 の場合

1. [スタート] → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。

■ Windows 10 の場合

1. [スタート] → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。

2. 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。

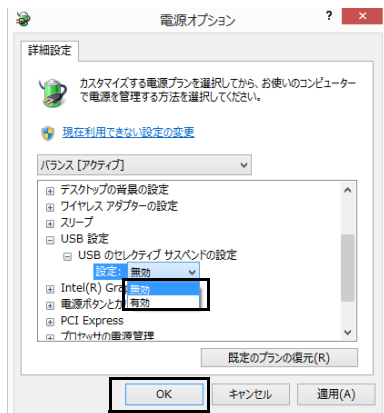
3. 「電源オプション」をクリックします。

4. 電源プランの一覧から使用している電源プランの「プラン設定の変更」をクリックします。

5. 「詳細な電源設定の変更」をクリックします。

6. 「電源オプション」ウィンドウが表示されます。

7. USB のセレクトティブ サスペンドの設定を変更します。



1. 「詳細設定」タブのリストから「USB 設定」をダブルクリックします。

POINT

▶ お使いの機種によっては、USB 設定の変更ができない場合があります。

2. 表示された「USB のセレクトティブ サスペンドの設定」をダブルクリックします。

3. さらに表示された「設定」または「バッテリー駆動」「電源に接続」をクリックします。

4. 「設定」または「バッテリー駆動」「電源に接続」メニュー右にある下矢印をクリックし、すべてを「無効」に設定します。

5. 「OK」をクリックします。

8. 設定を有効にするために、パソコン/タブレットを再起動します。

● Android で、日本語入力と英語入力の切り替えがうまくいかない場合

Android は、お使いの機種メーカーや OS のバージョンによって、日本語入力と英語入力を切り替えるための「言語切り替えキー」を使用するために、「言語」を追加する設定、または「画面キーボード」を追加する設定が必要な場合があります。

日本語入力と英語入力を切り替えがうまくいかない場合は、下記の手順にしたがって、設定することをお勧めします。

1. お使いの機種物理キーボードの言語切り替えキーをマニュアルなどで確認します。

言語切り替えキーは、Half Full (半角/全角) キー、Shift + Space キー、Ctrl + Space キー、Win/Cmd + Space キー、変換キー、無変換キー、Alt/Opt キーのいずれかかの可能性があります。

このキーで切り替えができない場合は、お使いの機種のマニュアルをご覧ください。

2. 言語切り替えキーを押し、日本語と英語の切り替えができることを確認します。

・切り替えができた場合

設定の変更は不要です。

・切り替えができない場合

手順3に進んでください。

3. 言語の設定で、英語を追加します。

「設定」→「システム」→「言語」→「言語追加」の順にタップし、「English(US)」を追加します。

4. 言語切り替えキーを押し、日本語と英語の切り替えができることを確認します。

・切り替えができた場合

設定はこれで完了です。

・切り替えができない場合

手順5に進んでください。

5. 画面キーボードの設定で、英語のキーボードを追加します。

「設定」→「システム」→「言語」→「画面キーボード」→「Gboard」→「言語」→「キーボードを追加」の順にタップし、「Alphabet(QWERTY)」を追加します。

6. 言語切り替えキーを押し、日本語と英語の切り替えができることを確認します。

・切り替えができた場合

設定はこれで完了です。

上記の手順は一例です。「言語」設定や「画面キーボード」設定の画面が表示できなかった場合は、「設定」で「言語」や「画面キーボード」などを入力して、検索してください。検索しても表示されない場合は、お使いの機種のマニュアルをご覧ください。

お手入れについて

● 本製品の汚れを取る場合

・アセトン、シンナー、ベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきん、除光液、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は絶対に使わないでください。

・アルコール成分を含んだ市販のクリーナーは使わないでください。

・爪や指輪などで傷を付けないように注意してください。

・OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布を使って軽く拭き取ってください。

・汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取り、中性洗剤を使用した場合は、水に浸した布で拭き取ってください。また、拭き取るときは、キーボードに水が入らないよう十分に注意してください。

● キーボードのキーとキーの間のほこりを取る場合

・ゴミは吹き飛ばして取らないでください。キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となります。また、掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。

・ほこりなどを取る場合は、柔らかいブラシなどを使って軽くほこりを取り除いてください。そのとき、毛先が抜けやすいブラシは使用しないでください。キーボード内部にブラシの毛などの異物が入り、故障の原因となる場合があります。

仕様一覧

品名	FMV Comfort Keyboard KB800
キー配列	JIS配列準拠104キー（テンキー付き）
キーピッチ	約19.0mm
キーストローク	約3.0mm
インターフェース	・ Bluetooth 5.0（Bluetooth Low Energy） ・ USB レシーバー（Type-A）
チルト機構	あり
ロールオーバー機能	あり
温湿度条件	温度5～35℃／湿度20～80%RH（動作時） 温度-10～60℃／湿度20～80%RH（保管時） （ただし、動作時、保管時とも結露しないこと）
外形寸法（幅×奥行×高さ）	約348.8mm×約128.35mm×約24.35mm（チルトしていない状態）
質量	約535g（乾電池とUSBレシーバーは含まない）
動作時間	毎日3.5時間の使用で、約12ヶ月 ^[注1]
対応電池	単4形アルカリ乾電池2本
動作対応OS ^[注2]	・ Bluetooth 接続 ^[注3] Windows 11（64ビット版）、Windows 10（64ビット版）、macOS Big Sur 11以降、iOS 15/iPadOS 15以降、Android 11以降、Chrome OS ・ USB レシーバー接続 Windows 11（64ビット版）、Windows 10（64ビット版）、macOS Big Sur 11以降、Chrome OS

注1：電池の連続使用可能時間の目安は、毎日3.5時間使用し、未使用時は電源スイッチをOFFにして、約12ヶ月です。ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。

注2：2020年以降に販売開始されたパソコン／タブレット／スマートフォンを対象とします。

注3：Bluetooth Low Energy 対応のパソコン／タブレット／スマートフォンを対象とします。

FMV Comfort Keyboard KB800 補足情報

B6FY-6041-01 Z0-00

発行日 2024年6月

発行責任 富士通クライアントコンピューティング株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田 1-1-2 新川崎ツインタワー（ウエストタワー）

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。